



ASHURASCOPE®

報道関係者各位
プレスリリース

2014年7月23日
株式会社 アシュラスコープ インスタレーション

プロジェクションマッピングの進化系「Mediarium®(メディアリウム)」を 「特別展 ガウディ×井上雄彦 -シンクロする創造の源泉-」へ提供

株式会社アシュラスコープインスタレーション(以下 アシュラスコープ)は、2014年7月12日に森アートセンターギャラリーにてオープンした「特別展 ガウディ×井上雄彦 -シンクロする創造の源泉-」へ、プロジェクションマッピングの進化系「Mediarium(メディアリウム)」を用いたコンテンツを提供した。

【"特別展 ガウディ×井上雄彦 -シンクロする創造の源泉-"での「Mediarium(メディアリウム)」】

六本木ヒルズにある森アートセンターギャラリーにて、2014年7月12日から開催されている"特別展 ガウディ×井上雄彦 -シンクロする創造の源泉-"に、アシュラスコープの「Mediarium(メディアリウム)」が使用されている。

アシュラスコープが演出をした会場は、まるでガウディの建築の中に足を踏み入れたような不思議な感覚を体感できる空間になっている。ガウディの建築特有のゆるやかな曲線を描く壁と床に広がった真っ白な六角形のタイル。そこへ床と壁合わせて12台のプロジェクターを連動させ、モノクロのモザイクタイルがいつの間にか空間全体に広がり、鮮やかに色づいていくという、ガウディの建築に豊かな色彩が取り込まれた時代を表現する演出が施されている。

井上雄彦氏の描くモザイクタイルのカメや魚が飛び出し、床や壁を自由に行き来する演出には、子どもたちがカメに乗って遊んだり、腕や服に映して楽しむカップルの姿が見られた。

カサ・ミラで実際に使われていた窓の柵の展示では、壁にカサ・ミラの窓枠を模した造作物が取り付けられており、時折現れる蝶と共にスペイン・バルセロナの風景が浮かび上がり、現地の鳥のさ

えずりが聞こえてくる。展示物の特徴を活かした映像と音で、より魅力的に見せる演出となっている。また、他の展示に干渉しないよう、特定の領域でしか音が聞こえないようにするという考慮もされている。

「Mediarium（メディアリウム）」は、ガウディと井上雄彦氏、両者の作品に込められた作家の世界観などを損なうことなく、「少し遊びゴコロのある演出」をプラスしている。本展示は、10月より金沢21世紀美術館、12月より長崎県美術館、2015年3月より兵庫県立美術館、2015年6月よりせんだいメディアテークと、1年をかけて全国を巡回する予定だ。

専属のオペレーター不要で、簡易な操作による運営が可能になるのも「Mediarium（メディアリウム）」の特徴の一つだ。コンテンツは複数に分割しても成立するように制作されているため、巡回先の会場規模や予算に応じて構成を組み替えることができる。現在開催中の森アートセンターギャラリーは、2014年9月7日まで開催されているので、ぜひ足を運んで体感して頂きたい。

「株式会社 アシュラスコープインスタレーション」

<http://www.projectionmapping.biz/>

「"特別展 ガウディ×井上雄彦 -シンクロする創造の源泉-"」

<http://www.gaudinoue.com/>

■会社概要

商号 : 株式会社アシュラスコープインスタレーション
代表者 : 代表取締役 秋葉 哲也
所在地 : 〒160-0022 東京都新宿区新宿6-7-22 エルプリメント新宿553
設立 : 2011年4月
事業内容 : プロジェクションマッピングの制作
資本金 : 500万円
URL : <http://www.projectionmapping.biz/>